

菊池よしひと

蓮田市の未来を皆様と一緒に考えます

report.1 12月 行政報告

蓮田SA（新上り線）・スマートインターチェンジの進捗状況について

蓮田サービスエリア新上り線については、造成工事は概ね完了し、引き続きランプ周辺の盛土工事、駐車場部分の舗装工事、外周道路側の遮音壁工事、休憩施設新設工事が進められています。

蓮田スマートインターチェンジのフル化については、現在、国、県、埼玉県警察、東日本高速道路株式会社、さいたま市、白岡市で構成する準備会において、準備段階調査を行っています。

高虫西部地区産業団地整備事業の進捗状況について

10月14日(日)、高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会が設立されました。また、10月29日(月)には、準備会から市に「準備会結成届」及び「土地区画整理事業に伴う技術援助の申請」が提出されました。

今後は、連携しながら組合施行による土地区画整理事業に協力いただく事業者の選定作業を進め、産業団地の早期整備を目指します。

蓮田西口再開発事業の進捗状況について

10月31日(水)、特定建築者の東急不動産株式会社と市において再開発ビル施工協定を締結し、11月1日(木)から、設計・施工を請け負った株式会社長谷工コーポレーションにより建設工事が始まりました。今年度は、主に杭工事などの基礎工事を行い、2020年秋の完成に向け、事業の推進を図ってまいります。



撮影日/平成30年11月29日

子育て世代包括支援センターの開設について

妊産婦・乳幼児及びその保護者を対象に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うため、11月1日(木)から子育て世代包括支援センター事業を開始しました。センターの開設にあたり、市役所子ども支援課前に専用の相談スペースを設置しました。今後、職員の資質向上を図り、相談体制を充実させてまいります。



蓮田マラソンについて

11月24日(土)、今年で7回目となる蓮田マラソンが黒浜公園を中心会場として開催されました。市の活性化、まちおこしを目的に蓮田ランタイズが主催し、市内各種団体多数の協力のもと行われる一大イベントです。10キロ、3キロ、421.95メートルの3コースが設けられ、3,286人のランナーがエントリーし、爽快な汗を流されました。メイン会場では、プロの職人によるスイーツバトルも同時開催されました。



公園整備事業、簡易児童遊園地管理事業について

議会報告4月号で記載させていただきました根ヶ谷戸公園と天神谷公園の滑り台の交換が完了しました。



根ヶ谷戸公園



根ヶ谷戸公園



天神谷公園

report.2 12月 定例会報告

第77号議案から第98号議案について審議が行われました。第77号議案から第98号議案は可決されましたのでご報告させていただきます。



議決結果および件名は
蓮田市のホームページ→市議会→会議録の検索と閲覧でご覧になれます。

report.3 菊池よしひとの12月 定例会 一般質問

12月定例会で私は、大きく分けて「小・中学校英語教育について」「着衣水泳について」「国指定史跡黒浜貝塚整備事業について」「小・中学校大規模改修について」を質問しました。

小・中学校英語教育について

質問 外国語教育 ALT について 現状は、今後の予定は。

担当者 答弁

JETプログラムにより6名のALTを雇用しています。6名のALTが市内の小学校、中学校で勤務し一日7時間勤務で、4時間前後の授業を受け持っています。

今後の予定は、2020年より、今年度に比べ小学校3年生から6年生まで年間20時間の授業時数が増加となります。それに対応するため、今年度のALTの活動実績について、よく精査し、次年度以降の改善にいかしてまいります。

説明

平成29年3月31日に公示された小学校学習指導要領では、平成30年4月1日から第3学年及び第4学年において外国語活動を実施する等を円滑に移行するための措置を実施し、2020年4月1日から全面実施することとなっています。具体的には小学校第3学年、第4学年では年間35時間、第5学年、第6学年では70時間となります。私は小学生が英語学習をするうえで英語を母国語とするALTの発音、口の動き、ジェスチャーの日本人との違いを感じながら学習することにより義務教育としての英語学習がより効率的に行えるよう期待して質問をしました。

※平成31年には年号が変わることが予想されるため、現在平成30年の2年後を2020年と記載させていただきました。

JETプログラムとは

一般財団法人CLAIR自治体国際化協会が、総務省・外務省・文部科学省と連携して行う語学指導等を行う外国語青年招致事業で、外国青年を招致し、地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図っています。また、JETプログラムに応募してくる外国青年は、日本について関心があり、日本の地域社会における国際交流活動に参加する意欲があること、日本語を学び続ける意欲があること、日本での生活に適應する能力を有し、責任を持って参加期間の職務を全うする意志があることなど多くの要件をみたした人材です。

他に英語教育サポーターについて質問をしました。